

メディバルグループにしか できない画期的な サービスを提供

多様化する社会ニーズに対応していくため、さまざまな分野の企業、医療機関、自治体との協業により、これまでにない新たなビジネスモデルの創造に取り組んでいます。当社グループの持つ製薬企業や医療機関とのネットワークに加え、全国をカバーする流通網や特殊温度帯下での医薬品流通技術などを活用することで、当社グループにしかできない画期的なサービスを生み出しています。

主なパートナーとの取り組み

SBIインベストメント(株)

2021年にCVC(コーポレートベンチャーキャピタル)ファンド「MEDIPAL Innovation 投資事業有限責任組合」を共同で設立。当社がこれまでに培ってきたベンチャー企業育成の知見を活かし、メディバルの事業とシナジー効果が見込まれるベンチャー企業への投資を行う。

※CVCファンドによる主な投資実績はP.29「TOPICS」をご参照ください。

H.U.グループホールディングス(株)

2020年に医療・ヘルスケア領域における戦略的業務提携。受発注システムや倉庫の共有化、シェアリングロジスティクスの実現を通じて、ESG・SDGsの観点からより環境負荷の少ない事業運営をめざす。また、医療・健康情報の活用や、再生医療分野での事業を探索。

三菱倉庫(株)

2019年に業務提携。市場出荷後から最終需要者までのすべての過程における全体最適な医薬品流通体制の構築をめざす。また、GDP(医薬品の適正流通)ガイドラインに準拠した医薬品保冷配送サービス「DP-Cool」を活用し、厳格な温度管理下での流通プラットフォームを構築。

(株)エムティーアイ

2016年に資本業務提携。同社の運営する女性と医師をつなぐサービス「ルナルナ メディコ」や母子手帳アプリ「母子モ」の普及・促進、同社の子会社である(株)カラダメディカの運営する「CARADA オンライン診療」「CARADA 電子薬歴 Solamichi」の普及・促進など。

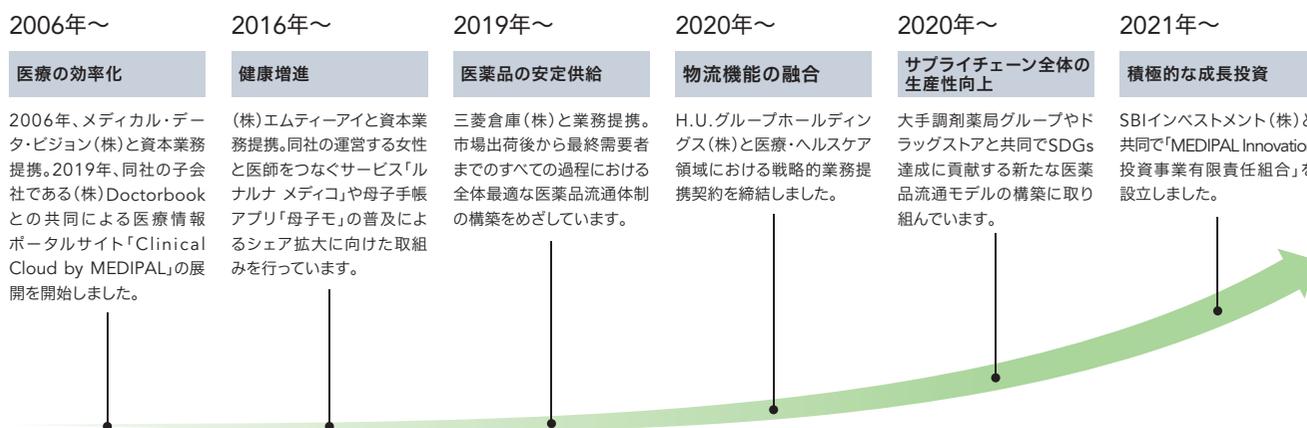
メディカル・データ・ビジョン(株)

2006年に資本業務提携。同社の子会社である(株)Doctorbookとの共同による医療情報ポータルサイト「Clinical Cloud by MEDIPAL」の運営・制作など。

3 さまざまな分野の 成長の源泉 パートナーとの 価値共創

さまざまな分野の企業や医療機関・自治体との協業により、既存の枠組みにとらわれないビジネスモデルを構築しています。

パートナーシップ構築における主な取組み

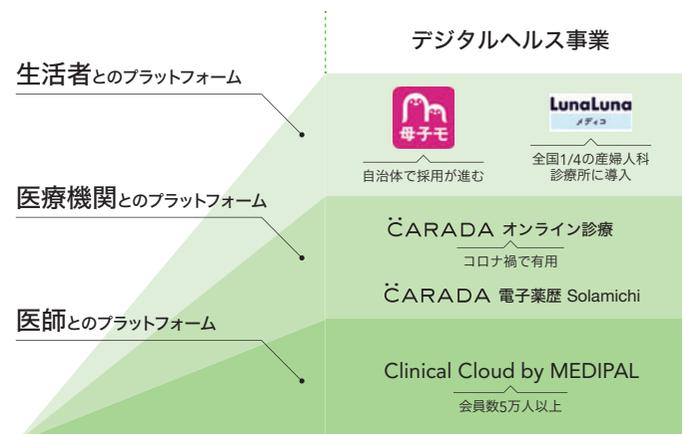


デジタル・ヘルスケア・プラットフォーム

医療・ヘルスケア領域におけるデジタル・ヘルスケア分野では、「リアル」の人によるコミュニケーションと、「デジタル」を介したコミュニケーションを融合することで、医療機関のみならず患者さんや生活者の健康の役に立つサービスを数多く提供しています。

今後、医療や個人の健康管理にデジタルを活用していく流れが加速していくと予想しています。当社グループがそのプレイヤーとして存在感を発揮するため、デジタルヘルスケアのプラットフォームづくりに注力しています。

デジタル・ヘルスケア・プラットフォームを構築中～リアル営業とデジタルの融合～



TOPICS CVCファンドによる主な投資実績

「MEDIPAL Innovation 投資事業有限責任組合」

設立日 : 2021年3月9日
 運用期間 : 10年
 投資対象 : 主にメディバルの既存事業分野と新規事業分野において事業シナジー効果が見込まれる国内外のベンチャー企業
 ファンド規模 : 100億円

2021年8月 :
リバーフィールド(株)
 独自の空気圧制御技術による手術支援ロボットの開発

2021年11月 :
Holoeyes(株)
 画像情報をコンピュータ処理し、診療のために提供するプログラムや、三次元空間上において複数人で同時に没入体験をしながら遠隔カンファレンスができる医療支援サービスを開発

2021年12月 :
イノバセル(株)
 便秘禁・尿失禁領域を中心としたアンメットメディカルニーズの高い疾患に対する再生医療等製品を開発

2022年5月 :
Chordia Therapeutics(株)
 特定の異常を有するがんの効果期待される複数のFirst-in-Classの抗がん薬の研究開発

2022年9月 :
(株)イーベック
 ヒト末梢血細胞から作製したさまざまな完全ヒト抗体を医薬品用抗体として開発